



坂戸市立坂戸小学校

令和7年12月24日発行 第9号

«学校教育目標»

「やさしく かしこく たくましく」

さかど

文責 校長 谷口 義明

2学期もありがとうございました。

8月下旬からの約4ヶ月、本校の教育活動に際しましてご理解・ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

運動会や校外行事、宿泊学習、修学旅行等行事が多く、子供たちの心に残った2学期だったと思います。みなさまには、ご理解・ご協力いただき、終業式を迎えることとなりました。

各教室では、落ち着いて学習のまとめを行っています。個々の丁寧な対応と3学期に向けた意欲付けを職員と確認したところです。2学期もお世話になり、本当にありがとうございました。

なお、12月29日～1月2日までは閉学日となりますのでよろしくお願いします。緊急の連絡等は、申し訳ありませんが1月5日（月）以降にご連絡くださるようお願いします。

冬休みに向けて

13日間の冬休み、お子さんに日本の文化・伝統行事、クリスマスや年始の街の雰囲気など可能な限り体験させてください。それは学校ではできないことです。また、何よりもたくさんの人との触れ合いができるといいですね。

家族で過ごす時間も増えることでしょう。この機会に家の掃除や料理などのお手伝いをする体験は非常に重要です。家族の一員としての自覚を高めるためにもご家庭で工夫していただけたら幸いです。

子供ってどうしてそんなわかりやすい嘘をつくの？

子供たちの行動を見ていると、ときどき、「どうしてなぜすぐばれるような嘘をついたり言い訳したりするのだろう」と不思議に思うことがあります。

心理学の視点からいろいろと調べてみると、そんなとき、子どもは必死に自分の身を守ろうとしているだけであり、その行為は決して悪いことではなく、むしろ成長の証だというのです。

場合によっては、親や大人に対する愛情不足や不満を抱えていて、構ってほしいがためにそのような行動をとっている ということもあるようです。中には、心に問題を抱えていて、自己を防衛するために攻撃的になっている場合もあります。その場合すぐに行った方がいいことが、お子さんと対等に向き合って話し合うということです。「構ってほしい」「愛情不足」「認められたい」「話を聞いてほしい」などの悩みを持っていることが考えられるからです。自分のことを見てもらいたい、自分の気持ちを受け止めてほしいと思っているのです。そのため、お子さんと対等に向き合って話すことで、「ありのままの存在を認めている」「大事にしている」というメッセージを送ることが重要です。

具体的には、 できるだけ長く話す 相槌を打ち、しっかり聞く姿勢を見せる
否定しない 「こうしなさい」といった指示を避ける 「それは間違ってる」と指摘しない等々
コミュニケーションの取り方を変えることで、お子さんは徐々に心理的に安定し、落ち着いてくるこ
とが多いので、状況に応じてやってみてください。

不審者に備えて

安全教育の根幹として子供たちには「自分の身は自分で守る」ことを折に触れて伝えていますが、冬期休業にそなえても同様の話をしました。

ただ、最近頻繁に耳にする突然起こっている事案は気を付けていても避けることが難しいと思います。
360度自分の周りを意識する、遊んでいたりしたらほぼ不可能でしょう。ですが、どうやって安全を
守っていくか、具体的に伝えていくことは必要です。年末・年始と大人が慌ただしい中でお子さんをず
っと見守るのは難しいことでしょう。学校でも安全指導を行っていきますが、この機会にいろいろな場
面をとらえてご家庭でも話し合ってみてください。 なお、1月には不審者対応の避難訓練も実施する
予定です。

では、よい年をお迎えください。また、来年もよろしくお願ひします。